

電気設備工事特記仕様書					項目				特記事項					項目					特記事項				項目					特記事項																																																																																																																																																																																																								
工	工事名称	保育園PHS機器更新工事(北保育園・さくらんぼ保育園)			21 別途工事との連絡協議	請負人は、工事別の業者間で互いに連絡をとり、定期的に協議会を行い、工事施工上の調整を図ること。また、工事区分の取合について図示あるも、施工時に必要に際し協議を行い連絡を密にすること。	3	電灯・動力幹線設備	工事範囲及び説明	電気方式 分電盤 施工方法 使用電線 ○3相3線式210V ○単相3線式210/105V 結線図・盗図による ○ケ-7ル ○電線管(○CPE OPF OFEP) ○ケ-7ルタツ ○600V-1E ○600V-CE ○600V-CET					14	基準設備	工事範囲及び説明	施工方法 突針 試験用端子 使用導線 JISA4201に準じて施工する。																																																																																																																																																																																																																		
	工事場所	長浜市神原町他																																																																																																																																																																																																																																		
工事期間	契約締結日の翌日より90日間			22 シンナー等の保管管理	シンナー等については、工事現場に放置することなく、保管を厳重に行い盗難を防止すると共に、保管数量についても作業前、作業終了後の確認等確実な管理を行うものとする。 冷凍にフロンを使用している機器の撤去においては、メーカー等によりフロンガスを全量回収し、大気放出をしない処理を行うこと。	24 工事加付の作成登録	4	電灯・コンセント設備	工事範囲及び説明	○天井内コウツ ○電線管(○CPE OPF) ○ケ-7ルタツ ○600V EM-1E ○600V EM-CE ○600V EM-EF 盗図・参考品番による JIS大角型(白色) 機器仕様図・盗図による					15	蓄電池設備	工事範囲及び説明	施工方法 定格 使用電線 機器仕様 配管材料																																																																																																																																																																																																																		
工事概要説明	電話交換設備の更新及び多機能電話・PHS機器の更新工事																																																																																																																																																																																																																																			
概	※該当工事には工種欄に○印を附す。				25 施工体制点検 26 過積載の防止措置 27 技術検査 28 施工上の留意事項等	「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」により、請負者は市担当者が行う施工体制点検を受けなければならない。また、指摘ある施工体制の不備は速やかに是正し、担当者に報告すること。 請負人は過積載等の違法運行防止を図り、道路交通法を遵守すること。 工事施工途中において、適宜中間技術検査を実施する。 イ 液化石油ガス設備工事を施工するものは、特定液化石油ガス設備工事業者であること。 ロ 液化石油ガス設備工事は作業に従事する者は、液化石油ガス設備士であること。 ハ 液化石油ガスの各種検査は、供給者または保安機関の検査を受け合格すること(記録紙および検査写真を提出すること)。 ニ 給水配管の接合剤は、上水道用の接合剤とする(継手指定品を除く)。 ホ 地中埋設の鋼管類は防食処置を行う。また、コンクリート貫通箇所はプラスチックテープを巻きモルタル埋める。 ヘ 建物内埋設配管は全てスラブより吊るものとし、その要領は共仕の屋内配管の支持要領に準ずる。 ト 暖房給湯設備における試験運転油量は、オイルストレージタンクの1/3以上とする。 チ 空気調和設備における仕切弁については、100A以上はバタフライ弁(JIS10K)とする。 リ 排水継、汚水継、浄化槽と硬質塩化ビニル管の接続部は砕石加工の工場製品を使用し、漏水防止を図る。 ヌ 機械設備工事で電気設備を含む場合には、別途電気設備工事に全て準ずる。 ヘ 機器の据付、配管支持については、『建築設備耐震設計施工指針』を参考とする。 ヲ 風量調整ダンパー、防排煙ダンパー類は、全て工場製品とする。(財)日本建築センターの防災認定マークを貼付されたものとする。 ワ 配管には空気だまりの無いように施工し、図示以外で施工箇所には自動空気抜きを取り付ける。 カ 保温工事については、極力設置員保温冷事業協同組合等県内業者とする。 コ 当該工事において、既設配管、既設埋設配管があった場合は監督職員の指示により、迂回等の工事を行い、軽微なものは本工事内とする。 また撤去工事は特に既設配管の先行を確認の上、安全に処理する。 「再生資源の利用の促進に関する法律」(リサイクル法)に定められている「再生資源利用計画書(実施書)」および「再生資源利用促進計画書(実施書)」を指定日までにFDにて提出のこと。 ノッチタンク等の配置により、濁った水等を数地外に排水することのないよう処理すること。	29 再生資源利用計画書 30 工事用排水 31 騒音振動の防止 32 建設リサイクル法の遵守 33 各種届出 34 仮設電力料金等 35 現場代理人	5	動力設備	電気方式 施工方法 使用電線	●3相3線式210V ●ケ-7ル ●電線管(●CPE OPF OFEP) ○ケ-7ルタツ ○600V EM-1E ●600V EM-CE ○600V EM-CET ○600V EM-EER 既設接地極を使用する場合は、事前に接地抵抗を確認の上確実に接続すること。					16	機械設備設備	工事範囲及び説明	施工方法																																																																																																																																																																																																																	
	適用No	工事種目																						工事種目	備考	6	拡張設備	施工方法 使用電線 機器仕様	●天井内コウツ ●電線管(○CPE ●PF) ○ケ-7ルタツ ○EM-1E ○HV ○HP ○MVVS ○AE 盗図・参考品番による					7	電灯設備	工事範囲及び説明	電話交換機より各子機への配管、配線、機器取付け、試験、設定、調整までとする。																																																																																																																																																																																															
	1	高(低)圧引込設備																																								8	呼び設備	施工方法 方式 使用電線	●天井内コウツ ○電線管(○CPE OPF) ○ケ-7ルタツ ●電子ポタンス ○電子交換機 ○CCP(市内○CPケーブル) ●EBT(電子ポタン電話用ケーブル) ○EM-CPEE(市内対ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル) ○PE-V(構内ケーブル) ○EM-TIEF(屋内用通信電線)					使用機材製造者指定																																																																																																																																																																																		
	2	受変電設備																																																					9	防犯カメラ設備	工事範囲及び説明	○天井内コウツ ○電線管(○CPE OPF OFEP) ○ケ-7ルタツ ○EM-1E ○HV ○HP ○MVVS ○AE					配管、配線、機器取付け、試験、設定、調整までとする。																																																																																																																																																																					
	3	電灯・動力幹線設備																																																																		10	テレビ共用設備	施工方法 モニタテレビ カメラ 関連機器	○天井内コウツ ○電線管(○CPE OPF) ○ケ-7ルタツ ○LEDディスプレイ(42型または23型) ○ネットワークカメラ(1R LED搭載型) ○HDDネットワークレコーダ(カメラ拡張キット他) ○PoE対応HUB					○配管配線 ○ケーブル(○配管 ○ラック ○コログシ) ○ネットディスプレイ(42型または23型) ○ネットワークカメラ(1R LED搭載型) ○HDDネットワークレコーダ(カメラ拡張キット他) ○PoE対応HUB					○配管配線 ○ケーブル(○配管 ○ラック ○コログシ) ○LEDディスプレイ(42型または23型) ○ネットワークカメラ(1R LED搭載型) ○HDDネットワークレコーダ(カメラ拡張キット他) ○PoE対応HUB																																																																																																																																																			
	4	電灯・コンセント設備																																																																																				11	自動火災報知設備	機器仕様	○配管配線 ○ケーブル(○配管 ○ラック ○コログシ) ○LEDディスプレイ(42型または23型) ○ネットワークカメラ(1R LED搭載型) ○HDDネットワークレコーダ(カメラ拡張キット他) ○PoE対応HUB					○配管配線 ○ケーブル(○配管 ○ラック ○コログシ) ○LEDディスプレイ(42型または23型) ○ネットワークカメラ(1R LED搭載型) ○HDDネットワークレコーダ(カメラ拡張キット他) ○PoE対応HUB																																																																																																																																						
	5	動力設備																																																																																																	12	ガス漏れ警報設備	機器仕様	●天井内コウツ ○電線管(○CPE OPF) ○ケ-7ルタツ ○HV ○HV ○HP ○AE 盗図・参考品番による					自動火災報知設備の改修工事 配管、配線、機器取付け、試験、設定、調整までとする。																																																																																																																									
	6	拡張設備																																																																																																														13	防犯カメラ設備	機器仕様	●天井内コウツ ○電線管(○CPE OPF) ○ケ-7ルタツ ○HV ○HV ○HP ○AE 盗図・参考品番による					自動火災報知設備の改修工事 配管、配線、機器取付け、試験、設定、調整までとする。																																																																																																												
	7	電話設備																																																																																																																											14	防犯カメラ設備	機器仕様	●天井内コウツ ○電線管(○CPE OPF) ○ケ-7ルタツ ○HV ○HV ○HP ○AE 盗図・参考品番による					自動火災報知設備の改修工事 配管、配線、機器取付け、試験、設定、調整までとする。																																																																																															
	8	呼出し設備																																																																																																																																								15	防犯カメラ設備	機器仕様	●天井内コウツ ○電線管(○CPE OPF) ○ケ-7ルタツ ○HV ○HV ○HP ○AE 盗図・参考品番による					自動火災報知設備の改修工事 配管、配線、機器取付け、試験、設定、調整までとする。																																																																																		
	9	防犯カメラ設備																																																																																																																																																					16	防犯カメラ設備	機器仕様	●天井内コウツ ○電線管(○CPE OPF) ○ケ-7ルタツ ○HV ○HV ○HP ○AE 盗図・参考品番による					自動火災報知設備の改修工事 配管、配線、機器取付け、試験、設定、調整までとする。																																																																					
	10	テレビ共用設備																																																																																																																																																																		17	防犯カメラ設備	機器仕様	●天井内コウツ ○電線管(○CPE OPF) ○ケ-7ルタツ ○HV ○HV ○HP ○AE 盗図・参考品番による					自動火災報知設備の改修工事 配管、配線、機器取付け、試験、設定、調整までとする。																																																								
	11	自動火災報知設備																																																																																																																																																																															18	防犯カメラ設備	機器仕様	●天井内コウツ ○電線管(○CPE OPF) ○ケ-7ルタツ ○HV ○HV ○HP ○AE 盗図・参考品番による					自動火災報知設備の改修工事 配管、配線、機器取付け、試験、設定、調整までとする。																																											
	12	ガス漏れ警報設備																																																																																																																																																																																												19	防犯カメラ設備	機器仕様	●天井内コウツ ○電線管(○CPE OPF) ○ケ-7ルタツ ○HV ○HV ○HP ○AE 盗図・参考品番による					自動火災報知設備の改修工事 配管、配線、機器取付け、試験、設定、調整までとする。																														
	13	防火戸閉鎖設備																																																																																																																																																																																																									20	防犯カメラ設備	機器仕様	●天井内コウツ ○電線管(○CPE OPF) ○ケ-7ルタツ ○HV ○HV ○HP ○AE 盗図・参考品番による					自動火災報知設備の改修工事 配管、配線、機器取付け、試験、設定、調整までとする。																	
	14	機械設備設備																																																																																																																																																																																																																						21	防犯カメラ設備	機器仕様	●天井内コウツ ○電線管(○CPE OPF) ○ケ-7ルタツ ○HV ○HV ○HP ○AE 盗図・参考品番による					自動火災報知設備の改修工事 配管、配線、機器取付け、試験、設定、調整までとする。				
	15	機器設備設備																																																																																																																																																																																																																																		
16	その他					23	防犯カメラ設備	機器仕様	●天井内コウツ ○電線管(○CPE OPF) ○ケ-7ルタツ ○HV ○HV ○HP ○AE 盗図・参考品番による					自動火災報知設備の改修工事 配管、配線、機器取付け、試験、設定、調整までとする。																																																																																																																																																																																																																						
17	その他																		24	防犯カメラ設備	機器仕様	●天井内コウツ ○電線管(○CPE OPF) ○ケ-7ルタツ ○HV ○HV ○HP ○AE 盗図・参考品番による					自動火災報知設備の改修工事 配管、配線、機器取付け、試験、設定、調整までとする。																																																																																																																																																																																																									
18	その他																															25	防犯カメラ設備	機器仕様	●天井内コウツ ○電線管(○CPE OPF) ○ケ-7ルタツ ○HV ○HV ○HP ○AE 盗図・参考品番による					自動火災報知設備の改修工事 配管、配線、機器取付け、試験、設定、調整までとする。																																																																																																																																																																																												
19	その他																																												26	防犯カメラ設備	機器仕様	●天井内コウツ ○電線管(○CPE OPF) ○ケ-7ルタツ ○HV ○HV ○HP ○AE 盗図・参考品番による					自動火災報知設備の改修工事 配管、配線、機器取付け、試験、設定、調整までとする。																																																																																																																																																																															
20	その他																																																									27	防犯カメラ設備	機器仕様	●天井内コウツ ○電線管(○CPE OPF) ○ケ-7ルタツ ○HV ○HV ○HP ○AE 盗図・参考品番による					自動火災報知設備の改修工事 配管、配線、機器取付け、試験、設定、調整までとする。																																																																																																																																																																		
21	その他																																																																						28	防犯カメラ設備	機器仕様	●天井内コウツ ○電線管(○CPE OPF) ○ケ-7ルタツ ○HV ○HV ○HP ○AE 盗図・参考品番による					自動火災報知設備の改修工事 配管、配線、機器取付け、試験、設定、調整までとする。																																																																																																																																																					



TITLE 保育園PHS機器更新工事(北保育園・さくらんぼ保育園)

DRAWING NAME 特記仕様書 No. 14102307 E 1/4

共通特記

- (1) 現状機器の運用を行いながらの工事となるため、施工に先立ち現状設備の調査検討を十分に行い、業務への影響を確認し、施工方法を検討した上で施工計画を作成すること。
- (2) 電話設備等の機能を停止させる作業は、監督職員と協議の上、指定日、指定時間に行うこと。
- (3) 配線及び一般電話機は既設流用とし、外線番号については、基本的には既設の番号を使用するものとする。
- (4) 電話回線については本工事と同時に回線種別の変更を伴う切り替えを行うことを計画している。  
請負者は電話回線提供会社と事前に協議を行うなど、計画、実施において業務に支障が発生しないよう調整を行うこと。
- (5) 引込みはひかり回線+アナログ回線とする。ただし、ひかり回線は引込み後INS64に変換済み。(NTT対応済)  
将来、アナログ回線をひかり回線に統合するため、拡張性を持たせた仕様とすること。(主装置へはINS64で接続)

電話交換機等 設備仕様																																													
1. 一般事項	(1) 本工事は、有線電気通信法、電気通信事業法に定める端末設備等規則に基づき施行すること。 (2) 本工事に必要な日本電信電話(株)等の申請手続きは、全て請負者が代行して行うこととする。 (3) 本工事の完了は、据付工事完了後検査員の立会検査合格後引き渡しするものとする。																																												
2. 機器構成	(1) 電子交換機 (2) 多機能電話機 (3) 一般電話機 (4) 電源装置 (5) PHSアンテナ (6) PHS子機 (7) ドアホン																																												
3. 機器仕様	<table border="1"> <tr> <td>3-1 交換機</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>(1) 交換方式</td> <td>制御方式 番積プログラム制御方式 通話路方式 時分割交換 冷却方式 自然空冷 処理装置 64bitデジタルシグナルプロセッサ 冗長方式 一重化</td> </tr> <tr> <td>(2) 設置方法</td> <td>自立設置型及び19インチラック搭載を選択可能なものとする</td> </tr> <tr> <td>(3) 応答方式</td> <td>ダイヤルイン方式、サブアドレス方式、ダイレクトインライン方式、簡易中継台方式</td> </tr> <tr> <td>(4) トラフィック条件</td> <td>内線電話機1台あたりの呼量はGHCS程度とする</td> </tr> <tr> <td>(5) 電源条件</td> <td>入力電源 AC100V±10V、48~62Hz バッテリーにより3時間停電補償とする</td> </tr> <tr> <td>(6) 環境条件</td> <td>温度 0~40℃ 湿度 20~85%RH 結露のないこと</td> </tr> <tr> <td>(9) 機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆外線発信                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動選局発信/方路選局発信</li> <li>・発信者番号通知/非通知機能</li> </ul> </li> <li>◆外線着信                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・着信履歴蓄積</li> <li>・外線別個別着信(DIL)</li> <li>・応答待ち合わせガイダンス送出</li> </ul> </li> <li>◆保留・転送                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム/パーク保留</li> <li>・話中転送</li> <li>◆システム機能                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議通話</li> <li>・ページング</li> </ul> </li> <li>◆ボイスメール機能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・通話録音</li> <li>・ユーザ録音ガイダンス</li> </ul> </li> </ul> </li></ul></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>3-2 電話機</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>(1) デジタル多機能電話機</td> <td>機能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・LCD表示 全角10桁(半角20桁)×6行、漢字/かな/カナ/英数</li> <li>・可変機能ボタン 30個以上</li> <li>・発信/着信履歴 8,000件程度</li> <li>・着信表示ランプ7色</li> <li>・停電時アナログ局線との直通接続が可能なこと(指定電話機のみ)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>(2) 一般電話機</td> <td>機能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・リダイヤルボタン(再送)、フッキングボタン</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>(3) PHS子機(専用ストラップ付き)</td> <td>機能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・連続通話時間 約7時間</li> <li>・高速ハンドオーバー対応</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>(4) PHSアンテナ</td> <td>機能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・無線区間インターフェース RCR STD-28準拠</li> <li>・無線周波数帯 1900MHz帯</li> </ul> </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>3-3 その他機能等</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>(1) 通話録音機能</td> <td>電話応対におけるトラブル回避のために通話録音機能を有すること ・通話録音の対象は、外線、多機能電話機全数とする ・手動録音/自動録音/さかのぼり録音に対応すること ・他の多機能電話機に転送した後も継続して録音ができること ・通話録音の録音告知機能を有すること(『この電話は、通話内容を録音させていただきます。』等のアナウンス)</td> </tr> <tr> <td>(2) 通話モニタ機能</td> <td>デジタル多機能電話機の操作により、他電話機の通話をモニタできること 通話録音中も通話モニタ可能なこと</td> </tr> <tr> <td>(3) 非通知着信拒否</td> <td>外線着信時、発番号が非通知だった場合やあらかじめ登録しておいた迷惑電話番号と一致した場合に着信を拒否 (非通知の場合は「通知にしておかけ直してください」等のガイダンスを流すこと)ができること</td> </tr> <tr> <td>(4) ページング</td> <td>電話機の操作により、非常放送アンプに接続して放送呼びびできること 呼び出しはデジタル多機能電話機およびPHSから可能なこと ハウリングが発生する場合は、音響測定を行い必要に応じて測定結果を提出すること。</td> </tr> <tr> <td>(5) インターホン</td> <td>交換機に取付し、PHS子機にて応答ができること。</td> </tr> <tr> <td>(6) 拡張性</td> <td>柔軟な拡張性を有し、将来の機能追加に容易に対応可能なこと(IP電話/スマートフォンの内線利用等)</td> </tr> <tr> <td>(7) リモート保守機能</td> <td>電話回線を使用し、遠隔でデータ設定等の保守が可能なこと</td> </tr> <tr> <td>(8) PHS緊急メッセージ</td> <td>多機能電話、PHS子機からワンタッチ操作により、ほぼ同時にすべてのPHSに対して「不審者」「全員招集」などのテキストメッセージを送れること。 また、通話中の場合は終話後メッセージの着信が表示されること</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	3-1 交換機	<table border="1"> <tr> <td>(1) 交換方式</td> <td>制御方式 番積プログラム制御方式 通話路方式 時分割交換 冷却方式 自然空冷 処理装置 64bitデジタルシグナルプロセッサ 冗長方式 一重化</td> </tr> <tr> <td>(2) 設置方法</td> <td>自立設置型及び19インチラック搭載を選択可能なものとする</td> </tr> <tr> <td>(3) 応答方式</td> <td>ダイヤルイン方式、サブアドレス方式、ダイレクトインライン方式、簡易中継台方式</td> </tr> <tr> <td>(4) トラフィック条件</td> <td>内線電話機1台あたりの呼量はGHCS程度とする</td> </tr> <tr> <td>(5) 電源条件</td> <td>入力電源 AC100V±10V、48~62Hz バッテリーにより3時間停電補償とする</td> </tr> <tr> <td>(6) 環境条件</td> <td>温度 0~40℃ 湿度 20~85%RH 結露のないこと</td> </tr> <tr> <td>(9) 機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆外線発信                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動選局発信/方路選局発信</li> <li>・発信者番号通知/非通知機能</li> </ul> </li> <li>◆外線着信                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・着信履歴蓄積</li> <li>・外線別個別着信(DIL)</li> <li>・応答待ち合わせガイダンス送出</li> </ul> </li> <li>◆保留・転送                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム/パーク保留</li> <li>・話中転送</li> <li>◆システム機能                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議通話</li> <li>・ページング</li> </ul> </li> <li>◆ボイスメール機能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・通話録音</li> <li>・ユーザ録音ガイダンス</li> </ul> </li> </ul> </li></ul></td> </tr> </table>	(1) 交換方式	制御方式 番積プログラム制御方式 通話路方式 時分割交換 冷却方式 自然空冷 処理装置 64bitデジタルシグナルプロセッサ 冗長方式 一重化	(2) 設置方法	自立設置型及び19インチラック搭載を選択可能なものとする	(3) 応答方式	ダイヤルイン方式、サブアドレス方式、ダイレクトインライン方式、簡易中継台方式	(4) トラフィック条件	内線電話機1台あたりの呼量はGHCS程度とする	(5) 電源条件	入力電源 AC100V±10V、48~62Hz バッテリーにより3時間停電補償とする	(6) 環境条件	温度 0~40℃ 湿度 20~85%RH 結露のないこと	(9) 機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆外線発信                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動選局発信/方路選局発信</li> <li>・発信者番号通知/非通知機能</li> </ul> </li> <li>◆外線着信                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・着信履歴蓄積</li> <li>・外線別個別着信(DIL)</li> <li>・応答待ち合わせガイダンス送出</li> </ul> </li> <li>◆保留・転送                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム/パーク保留</li> <li>・話中転送</li> <li>◆システム機能                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議通話</li> <li>・ページング</li> </ul> </li> <li>◆ボイスメール機能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・通話録音</li> <li>・ユーザ録音ガイダンス</li> </ul> </li> </ul> </li></ul>	3-2 電話機	<table border="1"> <tr> <td>(1) デジタル多機能電話機</td> <td>機能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・LCD表示 全角10桁(半角20桁)×6行、漢字/かな/カナ/英数</li> <li>・可変機能ボタン 30個以上</li> <li>・発信/着信履歴 8,000件程度</li> <li>・着信表示ランプ7色</li> <li>・停電時アナログ局線との直通接続が可能なこと(指定電話機のみ)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>(2) 一般電話機</td> <td>機能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・リダイヤルボタン(再送)、フッキングボタン</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>(3) PHS子機(専用ストラップ付き)</td> <td>機能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・連続通話時間 約7時間</li> <li>・高速ハンドオーバー対応</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>(4) PHSアンテナ</td> <td>機能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・無線区間インターフェース RCR STD-28準拠</li> <li>・無線周波数帯 1900MHz帯</li> </ul> </td> </tr> </table>	(1) デジタル多機能電話機	機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>・LCD表示 全角10桁(半角20桁)×6行、漢字/かな/カナ/英数</li> <li>・可変機能ボタン 30個以上</li> <li>・発信/着信履歴 8,000件程度</li> <li>・着信表示ランプ7色</li> <li>・停電時アナログ局線との直通接続が可能なこと(指定電話機のみ)</li> </ul>	(2) 一般電話機	機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>・リダイヤルボタン(再送)、フッキングボタン</li> </ul>	(3) PHS子機(専用ストラップ付き)	機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>・連続通話時間 約7時間</li> <li>・高速ハンドオーバー対応</li> </ul>	(4) PHSアンテナ	機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>・無線区間インターフェース RCR STD-28準拠</li> <li>・無線周波数帯 1900MHz帯</li> </ul>	3-3 その他機能等	<table border="1"> <tr> <td>(1) 通話録音機能</td> <td>電話応対におけるトラブル回避のために通話録音機能を有すること ・通話録音の対象は、外線、多機能電話機全数とする ・手動録音/自動録音/さかのぼり録音に対応すること ・他の多機能電話機に転送した後も継続して録音ができること ・通話録音の録音告知機能を有すること(『この電話は、通話内容を録音させていただきます。』等のアナウンス)</td> </tr> <tr> <td>(2) 通話モニタ機能</td> <td>デジタル多機能電話機の操作により、他電話機の通話をモニタできること 通話録音中も通話モニタ可能なこと</td> </tr> <tr> <td>(3) 非通知着信拒否</td> <td>外線着信時、発番号が非通知だった場合やあらかじめ登録しておいた迷惑電話番号と一致した場合に着信を拒否 (非通知の場合は「通知にしておかけ直してください」等のガイダンスを流すこと)ができること</td> </tr> <tr> <td>(4) ページング</td> <td>電話機の操作により、非常放送アンプに接続して放送呼びびできること 呼び出しはデジタル多機能電話機およびPHSから可能なこと ハウリングが発生する場合は、音響測定を行い必要に応じて測定結果を提出すること。</td> </tr> <tr> <td>(5) インターホン</td> <td>交換機に取付し、PHS子機にて応答ができること。</td> </tr> <tr> <td>(6) 拡張性</td> <td>柔軟な拡張性を有し、将来の機能追加に容易に対応可能なこと(IP電話/スマートフォンの内線利用等)</td> </tr> <tr> <td>(7) リモート保守機能</td> <td>電話回線を使用し、遠隔でデータ設定等の保守が可能なこと</td> </tr> <tr> <td>(8) PHS緊急メッセージ</td> <td>多機能電話、PHS子機からワンタッチ操作により、ほぼ同時にすべてのPHSに対して「不審者」「全員招集」などのテキストメッセージを送れること。 また、通話中の場合は終話後メッセージの着信が表示されること</td> </tr> </table>	(1) 通話録音機能	電話応対におけるトラブル回避のために通話録音機能を有すること ・通話録音の対象は、外線、多機能電話機全数とする ・手動録音/自動録音/さかのぼり録音に対応すること ・他の多機能電話機に転送した後も継続して録音ができること ・通話録音の録音告知機能を有すること(『この電話は、通話内容を録音させていただきます。』等のアナウンス)	(2) 通話モニタ機能	デジタル多機能電話機の操作により、他電話機の通話をモニタできること 通話録音中も通話モニタ可能なこと	(3) 非通知着信拒否	外線着信時、発番号が非通知だった場合やあらかじめ登録しておいた迷惑電話番号と一致した場合に着信を拒否 (非通知の場合は「通知にしておかけ直してください」等のガイダンスを流すこと)ができること	(4) ページング	電話機の操作により、非常放送アンプに接続して放送呼びびできること 呼び出しはデジタル多機能電話機およびPHSから可能なこと ハウリングが発生する場合は、音響測定を行い必要に応じて測定結果を提出すること。	(5) インターホン	交換機に取付し、PHS子機にて応答ができること。	(6) 拡張性	柔軟な拡張性を有し、将来の機能追加に容易に対応可能なこと(IP電話/スマートフォンの内線利用等)	(7) リモート保守機能	電話回線を使用し、遠隔でデータ設定等の保守が可能なこと	(8) PHS緊急メッセージ	多機能電話、PHS子機からワンタッチ操作により、ほぼ同時にすべてのPHSに対して「不審者」「全員招集」などのテキストメッセージを送れること。 また、通話中の場合は終話後メッセージの着信が表示されること
3-1 交換機	<table border="1"> <tr> <td>(1) 交換方式</td> <td>制御方式 番積プログラム制御方式 通話路方式 時分割交換 冷却方式 自然空冷 処理装置 64bitデジタルシグナルプロセッサ 冗長方式 一重化</td> </tr> <tr> <td>(2) 設置方法</td> <td>自立設置型及び19インチラック搭載を選択可能なものとする</td> </tr> <tr> <td>(3) 応答方式</td> <td>ダイヤルイン方式、サブアドレス方式、ダイレクトインライン方式、簡易中継台方式</td> </tr> <tr> <td>(4) トラフィック条件</td> <td>内線電話機1台あたりの呼量はGHCS程度とする</td> </tr> <tr> <td>(5) 電源条件</td> <td>入力電源 AC100V±10V、48~62Hz バッテリーにより3時間停電補償とする</td> </tr> <tr> <td>(6) 環境条件</td> <td>温度 0~40℃ 湿度 20~85%RH 結露のないこと</td> </tr> <tr> <td>(9) 機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆外線発信                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動選局発信/方路選局発信</li> <li>・発信者番号通知/非通知機能</li> </ul> </li> <li>◆外線着信                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・着信履歴蓄積</li> <li>・外線別個別着信(DIL)</li> <li>・応答待ち合わせガイダンス送出</li> </ul> </li> <li>◆保留・転送                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム/パーク保留</li> <li>・話中転送</li> <li>◆システム機能                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議通話</li> <li>・ページング</li> </ul> </li> <li>◆ボイスメール機能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・通話録音</li> <li>・ユーザ録音ガイダンス</li> </ul> </li> </ul> </li></ul></td> </tr> </table>	(1) 交換方式	制御方式 番積プログラム制御方式 通話路方式 時分割交換 冷却方式 自然空冷 処理装置 64bitデジタルシグナルプロセッサ 冗長方式 一重化	(2) 設置方法	自立設置型及び19インチラック搭載を選択可能なものとする	(3) 応答方式	ダイヤルイン方式、サブアドレス方式、ダイレクトインライン方式、簡易中継台方式	(4) トラフィック条件	内線電話機1台あたりの呼量はGHCS程度とする	(5) 電源条件	入力電源 AC100V±10V、48~62Hz バッテリーにより3時間停電補償とする	(6) 環境条件	温度 0~40℃ 湿度 20~85%RH 結露のないこと	(9) 機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆外線発信                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動選局発信/方路選局発信</li> <li>・発信者番号通知/非通知機能</li> </ul> </li> <li>◆外線着信                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・着信履歴蓄積</li> <li>・外線別個別着信(DIL)</li> <li>・応答待ち合わせガイダンス送出</li> </ul> </li> <li>◆保留・転送                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム/パーク保留</li> <li>・話中転送</li> <li>◆システム機能                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議通話</li> <li>・ページング</li> </ul> </li> <li>◆ボイスメール機能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・通話録音</li> <li>・ユーザ録音ガイダンス</li> </ul> </li> </ul> </li></ul>																														
(1) 交換方式	制御方式 番積プログラム制御方式 通話路方式 時分割交換 冷却方式 自然空冷 処理装置 64bitデジタルシグナルプロセッサ 冗長方式 一重化																																												
(2) 設置方法	自立設置型及び19インチラック搭載を選択可能なものとする																																												
(3) 応答方式	ダイヤルイン方式、サブアドレス方式、ダイレクトインライン方式、簡易中継台方式																																												
(4) トラフィック条件	内線電話機1台あたりの呼量はGHCS程度とする																																												
(5) 電源条件	入力電源 AC100V±10V、48~62Hz バッテリーにより3時間停電補償とする																																												
(6) 環境条件	温度 0~40℃ 湿度 20~85%RH 結露のないこと																																												
(9) 機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆外線発信                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動選局発信/方路選局発信</li> <li>・発信者番号通知/非通知機能</li> </ul> </li> <li>◆外線着信                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・着信履歴蓄積</li> <li>・外線別個別着信(DIL)</li> <li>・応答待ち合わせガイダンス送出</li> </ul> </li> <li>◆保留・転送                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム/パーク保留</li> <li>・話中転送</li> <li>◆システム機能                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議通話</li> <li>・ページング</li> </ul> </li> <li>◆ボイスメール機能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・通話録音</li> <li>・ユーザ録音ガイダンス</li> </ul> </li> </ul> </li></ul>																																												
3-2 電話機	<table border="1"> <tr> <td>(1) デジタル多機能電話機</td> <td>機能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・LCD表示 全角10桁(半角20桁)×6行、漢字/かな/カナ/英数</li> <li>・可変機能ボタン 30個以上</li> <li>・発信/着信履歴 8,000件程度</li> <li>・着信表示ランプ7色</li> <li>・停電時アナログ局線との直通接続が可能なこと(指定電話機のみ)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>(2) 一般電話機</td> <td>機能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・リダイヤルボタン(再送)、フッキングボタン</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>(3) PHS子機(専用ストラップ付き)</td> <td>機能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・連続通話時間 約7時間</li> <li>・高速ハンドオーバー対応</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>(4) PHSアンテナ</td> <td>機能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・無線区間インターフェース RCR STD-28準拠</li> <li>・無線周波数帯 1900MHz帯</li> </ul> </td> </tr> </table>	(1) デジタル多機能電話機	機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>・LCD表示 全角10桁(半角20桁)×6行、漢字/かな/カナ/英数</li> <li>・可変機能ボタン 30個以上</li> <li>・発信/着信履歴 8,000件程度</li> <li>・着信表示ランプ7色</li> <li>・停電時アナログ局線との直通接続が可能なこと(指定電話機のみ)</li> </ul>	(2) 一般電話機	機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>・リダイヤルボタン(再送)、フッキングボタン</li> </ul>	(3) PHS子機(専用ストラップ付き)	機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>・連続通話時間 約7時間</li> <li>・高速ハンドオーバー対応</li> </ul>	(4) PHSアンテナ	機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>・無線区間インターフェース RCR STD-28準拠</li> <li>・無線周波数帯 1900MHz帯</li> </ul>																																				
(1) デジタル多機能電話機	機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>・LCD表示 全角10桁(半角20桁)×6行、漢字/かな/カナ/英数</li> <li>・可変機能ボタン 30個以上</li> <li>・発信/着信履歴 8,000件程度</li> <li>・着信表示ランプ7色</li> <li>・停電時アナログ局線との直通接続が可能なこと(指定電話機のみ)</li> </ul>																																												
(2) 一般電話機	機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>・リダイヤルボタン(再送)、フッキングボタン</li> </ul>																																												
(3) PHS子機(専用ストラップ付き)	機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>・連続通話時間 約7時間</li> <li>・高速ハンドオーバー対応</li> </ul>																																												
(4) PHSアンテナ	機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>・無線区間インターフェース RCR STD-28準拠</li> <li>・無線周波数帯 1900MHz帯</li> </ul>																																												
3-3 その他機能等	<table border="1"> <tr> <td>(1) 通話録音機能</td> <td>電話応対におけるトラブル回避のために通話録音機能を有すること ・通話録音の対象は、外線、多機能電話機全数とする ・手動録音/自動録音/さかのぼり録音に対応すること ・他の多機能電話機に転送した後も継続して録音ができること ・通話録音の録音告知機能を有すること(『この電話は、通話内容を録音させていただきます。』等のアナウンス)</td> </tr> <tr> <td>(2) 通話モニタ機能</td> <td>デジタル多機能電話機の操作により、他電話機の通話をモニタできること 通話録音中も通話モニタ可能なこと</td> </tr> <tr> <td>(3) 非通知着信拒否</td> <td>外線着信時、発番号が非通知だった場合やあらかじめ登録しておいた迷惑電話番号と一致した場合に着信を拒否 (非通知の場合は「通知にしておかけ直してください」等のガイダンスを流すこと)ができること</td> </tr> <tr> <td>(4) ページング</td> <td>電話機の操作により、非常放送アンプに接続して放送呼びびできること 呼び出しはデジタル多機能電話機およびPHSから可能なこと ハウリングが発生する場合は、音響測定を行い必要に応じて測定結果を提出すること。</td> </tr> <tr> <td>(5) インターホン</td> <td>交換機に取付し、PHS子機にて応答ができること。</td> </tr> <tr> <td>(6) 拡張性</td> <td>柔軟な拡張性を有し、将来の機能追加に容易に対応可能なこと(IP電話/スマートフォンの内線利用等)</td> </tr> <tr> <td>(7) リモート保守機能</td> <td>電話回線を使用し、遠隔でデータ設定等の保守が可能なこと</td> </tr> <tr> <td>(8) PHS緊急メッセージ</td> <td>多機能電話、PHS子機からワンタッチ操作により、ほぼ同時にすべてのPHSに対して「不審者」「全員招集」などのテキストメッセージを送れること。 また、通話中の場合は終話後メッセージの着信が表示されること</td> </tr> </table>	(1) 通話録音機能	電話応対におけるトラブル回避のために通話録音機能を有すること ・通話録音の対象は、外線、多機能電話機全数とする ・手動録音/自動録音/さかのぼり録音に対応すること ・他の多機能電話機に転送した後も継続して録音ができること ・通話録音の録音告知機能を有すること(『この電話は、通話内容を録音させていただきます。』等のアナウンス)	(2) 通話モニタ機能	デジタル多機能電話機の操作により、他電話機の通話をモニタできること 通話録音中も通話モニタ可能なこと	(3) 非通知着信拒否	外線着信時、発番号が非通知だった場合やあらかじめ登録しておいた迷惑電話番号と一致した場合に着信を拒否 (非通知の場合は「通知にしておかけ直してください」等のガイダンスを流すこと)ができること	(4) ページング	電話機の操作により、非常放送アンプに接続して放送呼びびできること 呼び出しはデジタル多機能電話機およびPHSから可能なこと ハウリングが発生する場合は、音響測定を行い必要に応じて測定結果を提出すること。	(5) インターホン	交換機に取付し、PHS子機にて応答ができること。	(6) 拡張性	柔軟な拡張性を有し、将来の機能追加に容易に対応可能なこと(IP電話/スマートフォンの内線利用等)	(7) リモート保守機能	電話回線を使用し、遠隔でデータ設定等の保守が可能なこと	(8) PHS緊急メッセージ	多機能電話、PHS子機からワンタッチ操作により、ほぼ同時にすべてのPHSに対して「不審者」「全員招集」などのテキストメッセージを送れること。 また、通話中の場合は終話後メッセージの着信が表示されること																												
(1) 通話録音機能	電話応対におけるトラブル回避のために通話録音機能を有すること ・通話録音の対象は、外線、多機能電話機全数とする ・手動録音/自動録音/さかのぼり録音に対応すること ・他の多機能電話機に転送した後も継続して録音ができること ・通話録音の録音告知機能を有すること(『この電話は、通話内容を録音させていただきます。』等のアナウンス)																																												
(2) 通話モニタ機能	デジタル多機能電話機の操作により、他電話機の通話をモニタできること 通話録音中も通話モニタ可能なこと																																												
(3) 非通知着信拒否	外線着信時、発番号が非通知だった場合やあらかじめ登録しておいた迷惑電話番号と一致した場合に着信を拒否 (非通知の場合は「通知にしておかけ直してください」等のガイダンスを流すこと)ができること																																												
(4) ページング	電話機の操作により、非常放送アンプに接続して放送呼びびできること 呼び出しはデジタル多機能電話機およびPHSから可能なこと ハウリングが発生する場合は、音響測定を行い必要に応じて測定結果を提出すること。																																												
(5) インターホン	交換機に取付し、PHS子機にて応答ができること。																																												
(6) 拡張性	柔軟な拡張性を有し、将来の機能追加に容易に対応可能なこと(IP電話/スマートフォンの内線利用等)																																												
(7) リモート保守機能	電話回線を使用し、遠隔でデータ設定等の保守が可能なこと																																												
(8) PHS緊急メッセージ	多機能電話、PHS子機からワンタッチ操作により、ほぼ同時にすべてのPHSに対して「不審者」「全員招集」などのテキストメッセージを送れること。 また、通話中の場合は終話後メッセージの着信が表示されること																																												

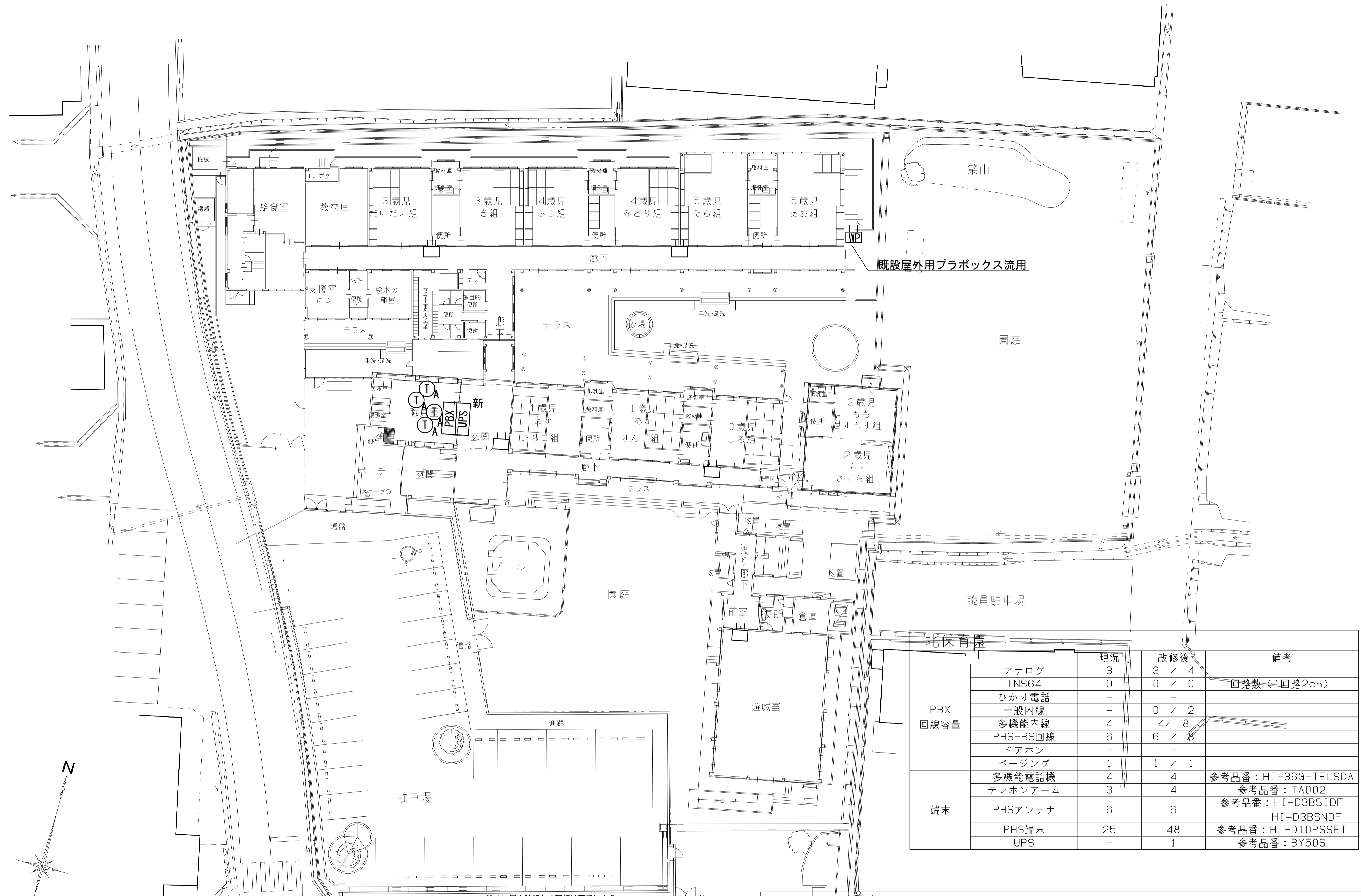
北保育園				
		現況	改修後	備考
PBX 回線容量	アナログ	3	3 / 4	
	INS64	0	0 / 0	回路数(1回路2ch)
	ひかり電話	-	-	
	一般内線	-	0 / 2	
	多機能内線	4	4 / 8	
	PHS-BS回線	6	6 / 8	
端末	ドアホン	-	-	
	ページング	1	1 / 1	
	多機能電話機	4	4	参考品番: HI-36G-TELSDA
	テレホンアーム	3	4	参考品番: TA002
	PHSアンテナ	6	6	参考品番: HI-D3BSIDF HI-D3BSNDF
	PHS端末	25	48	参考品番: HI-D10PSSET
UPS	-	1	参考品番: BY50S	

さくらんぼ保育園				
		現況	改修後	備考
PBX 回線容量	アナログ	0	0	
	INS64	1	1 / 2	回路数(1回路2ch)
	ひかり電話	-	-	
	一般内線	-	0 / 2	
	多機能内線	2	3 / 4	
	PHS-BS回線	5	5 / 8	
端末	ドアホン	-	-	
	ページング	1	1 / 1	
	多機能電話機	2	3	参考品番: HI-36G-TELSDA
	テレホンアーム	2	3	参考品番: TA002
	PHSアンテナ	5	5	参考品番: HI-D3BSIDF HI-D3BSNDF
	PHS端末	15	20	参考品番: HI-D10PSSET
UPS	-	1	参考品番: BY50S	



TITLE  
保育園PHS機器更新工事  
(北保育園・さくらんぼ保育園)

DRAWING NAME	A1-SCALE	A3-SCALE	No.	14102307
共通特記				
E	2			4

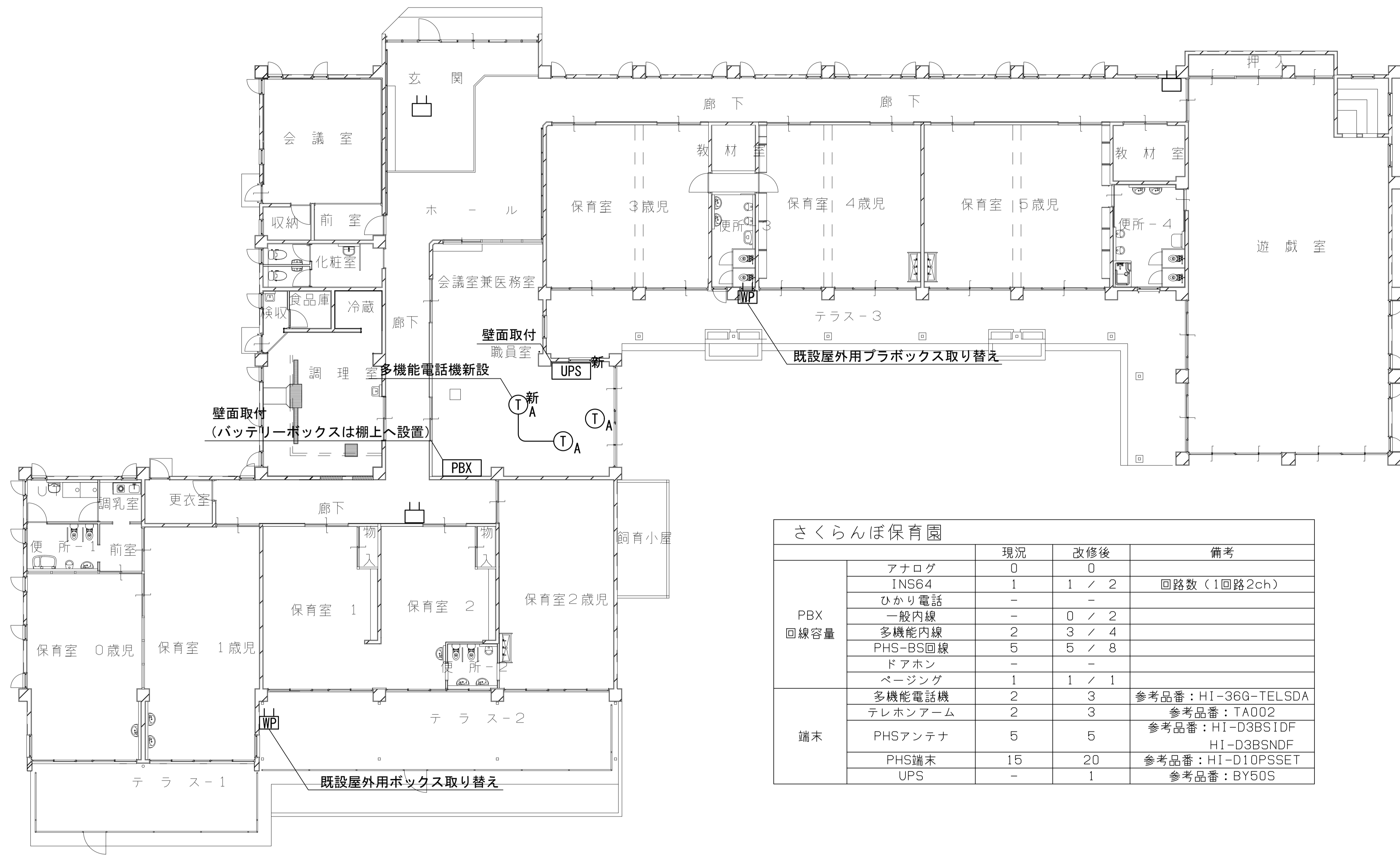


既設屋外用ボックス流用

北保育園		現況	改修後	備考
PBX 回線容量	アナログ	3	3 / 4	回線数(1回線2ch)
	INS64	0	0 / 0	
	ひかり電話	-	-	
	一般内線	-	0 / 2	
	多機能内線	4	4 / 8	
端末	PHS-BS回線	6	6 / 8	
	ドアホン	-	-	
	ページング	1	1 / 1	
	多機能電話機	4	4	参考品番: HI-36G-TELSDA
	テレホンアーム	3	4	参考品番: TA002
	PHSアンテナ	6	6	参考品番: HI-D3BS1DF HI-D3BSNDF
	PHS端末	25	48	参考品番: HI-D10PSSET
	UPS	-	1	参考品番: BY50S

- 注1) 図中特記なき配線は下記による。  
 (天井こころし配線、露出部は配管保護実施のこと)  
 EM-ICT 0.5-2P
- 注2) シンボルについて  
 実線 : 新設(既設有の場合は撤去のこと)  
 破線 : 撤去
- 注3) 「X」マークは撤去を示す。  
 撤去跡にカバープレート設置のこと。
- 注4) 「新」マークがあるものは新設とする。  
 無いものは既設機器の撤去、新設とする。
- (1) 主装置は更新するものとする。バッテリー設置場所に関しては担当者協議の上、変更可とする。  
 (2) 電話機・PHSアンテナの配線はEM-ICT0.5-4-2Pとし適宜モール、配管等保護を行うこと。防火区画の壁貫通を行う場合は、建築基準法に基づき防火区画処理を行うこと。  
 (3) 電話機・PHSアンテナ等の設置は、既設配線・配管・端子台を使用しても良いこととする。屋外アンテナはシーリング処理(壁面~BOX間 含)を行うこと。  
 (4) 主装置の電源は既設コンセントを抜け止コンセントに交換し、抜くことを禁止する旨の表示をする。  
 (5) ページングアンプへの接続は既設と同様とする。但し、放送の優先順位は非常放送の次とする。  
 (6) 既設のONU、VOIPアダプタ用のUPSを新たに取り付けること。

	壁貫通(防火区画貫通処理)		多機能電話機		PHSアンテナ
	点検口 新設450口		多機能電話機(テレフォンアーム付)		PHSアンテナ(防球)
	点検口 既設450口		電話交換機		PHSアンテナ(屋外用)



	現況	改修後	備考
PBX 回線容量	アナログ	0	0
	INS64	1	1 / 2 回路数(1回路2ch)
	ひかり電話	-	-
	一般内線	-	0 / 2
	多機能内線	2	3 / 4
	PHS-BS回線	5	5 / 8
	ドアホン	-	-
端末	ページング	1	1 / 1
	多機能電話機	2	3 参考品番: HI-36G-TELSDA
	テレホンアーム	2	3 参考品番: TA002
	PHSアンテナ	5	5 参考品番: HI-D3BSIDF HI-D3BSNDF
	PHS端末	15	20 参考品番: HI-D10PSSET
	UPS	-	1 参考品番: BY50S

- 注1) 図中特記なき配線は下記による。  
(天井ごし配線、露出部は配管保護実施のこと)  
EM-1CT 0.5-2P
- 注2) シンボルについて  
実線 : 新設(既設の場合は撤去のこと)  
破線 : 撤去
- 注3) 「×」マークは撤去を示す。  
撤去跡にカバープレート設置のこと。
- 注4) 「新」マークがあるものは新設とする。  
無いものは既設機器の撤去、新設とする。

- (1) 主装置は更新するものとする。バッテリー設置場所に関しては担当者との協議の上、変更可とする。
- (2) 電話機、PHSアンテナの配線はEM-1CT0.5-4-2Pとし適宜モール、配管等保護を行うこと。防火区画の壁貫通を行う場合は、建築基準法に基づき防火区画処理を行うこと。
- (3) 電話機・PHSアンテナ等の設置は、既設配線・配管・端子台を使用しても良いこととする。屋外アンテナはシーリング処理(壁面~BOX間 含)を行うこと。
- (4) 主装置の電源は既設コンセントを抜け止コンセントに交換し、抜くことを禁止する旨の表示をする。
- (5) ページングアンプへの接続は既設と同様とする。但し、放送の優先順位は非常放送の次とする。
- (6) 既設のONU、V01Pアダプタ用のUPSを新たに取付けること。

	壁貫通(防火区画貫通処理)		多機能電話機		PHSアンテナ
	点検口 新設450V		多機能電話機(テレホンアーム付)		PHSアンテナ(防球)
	点検口 既設450V		電話交換機		PHSアンテナ(屋外用)